

「v6プラス」 固定IPサービス対応製品開発ガイド

第1.2版

株式会社JPIX

改訂履歴

JPIX

版数	改訂年月日	変更内容
第1.0版	2017/01/31	初版
第1.1版	2023/01/01	文言修正
第1.2版	2023/05/08	[1. 端末製品開発について] 連絡先メールアドレス更新

1. 端末製品開発について

JPIX

- 本書は株式会社JPIXがISP事業者に提供する「v6プラス」固定IPサービスを利用する端末製品開発にあたり、必要な情報の概要を提示するものです。「v6プラス」固定IPサービスを利用する端末製品開発以外での本情報のご利用はご遠慮いただくようお願い致します。

※本書に記載している内容は、適宜変更・改訂されますので取扱いにはご注意ください。

- お手続きの流れは以下の通りです。

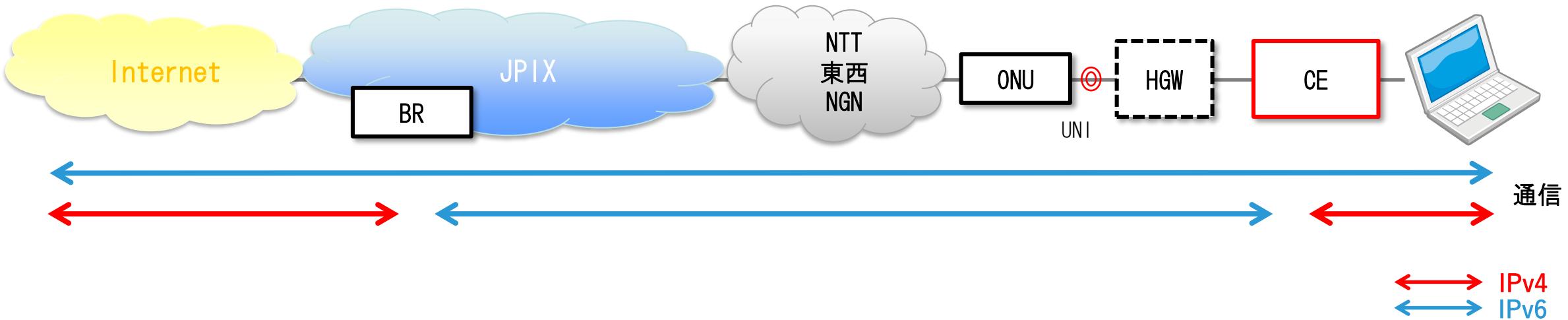


- ご利用のお申し出、ご質問、お問い合わせにつきましては、以下のメールアドレスにお願い致します。

v6plus@jpix.ad.jp

2. 接続構成

- 接続構成は以下の通りです。
 - JPIXは固定IP用BRを設置します。
 - 東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社（以下、NTT東西）NGNのUNI仕様はNTT東西それぞれの技術参考資料を参照下さい。
 - HGW（ひかり電話ルーター・ホームゲートウェイ）が設置されている場合があります。



3. 通信条件

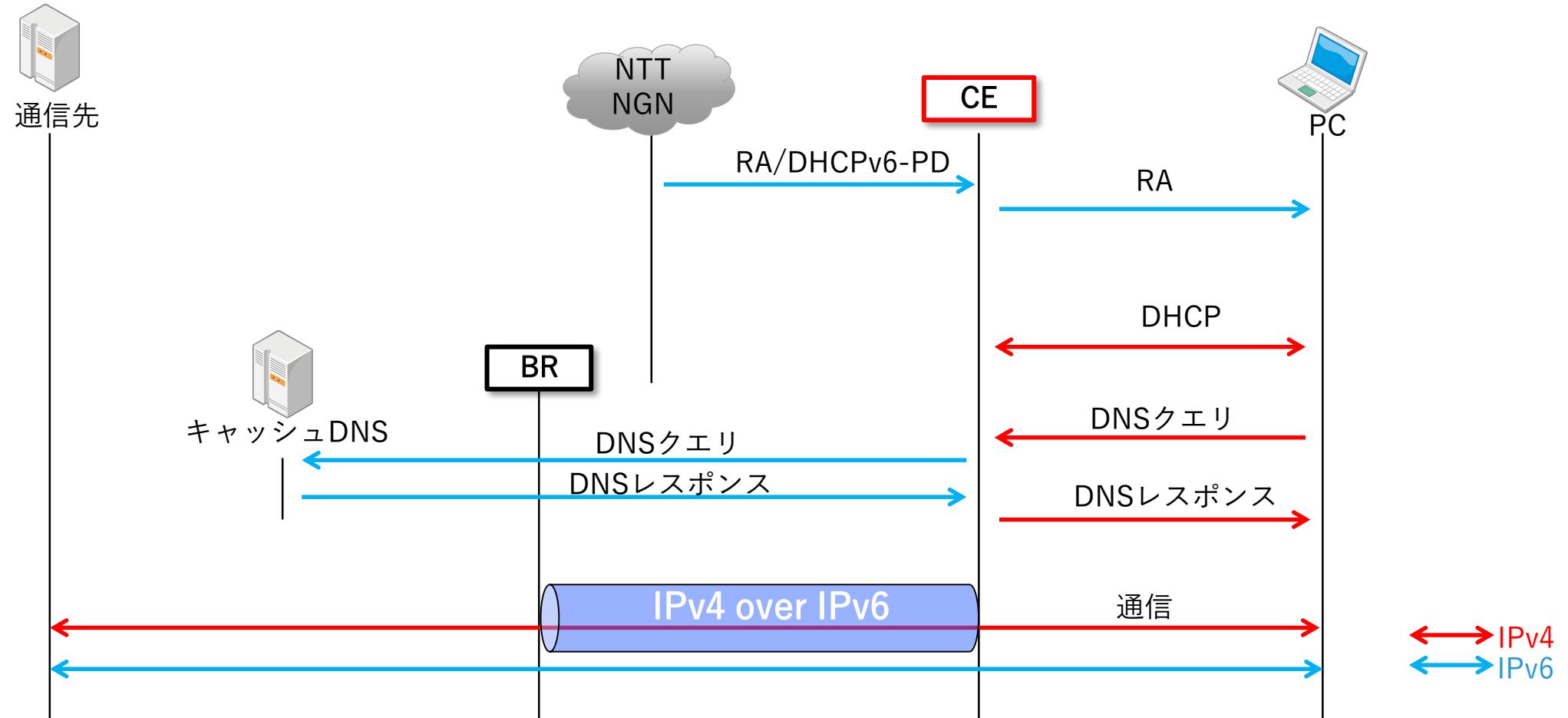
プロトコル・スタック

レイヤ	OSI参照モデル名	対応プロトコル	
		IPv4	IPv6
7	アプリケーション層	DHCP: RFC2131/RFC2132	DHCPv6: RFC3315/RFC3513/RFC3646/RFC40 75
6	プレゼンテーション層	DNS: RFC1034/RFC1035/RFC1123 RFC2181/RFC2308/RFC2671 RFC2782/RFC5625	DHCPv6-PD(*1): RFC3633
5	セッション層	HTTP: RFC2616	DNS: RFC1034/RFC1035/RFC1123/RFC21 81RFC2308/RFC2671/RFC2782/RFC 3596
4	トランスポート層	IPv4: RFC791 IPinIP	NTT東西それぞれの技術参考資料を参照 (IPv6 IPoE)
3	ネットワーク層		
2	データリンク層		
1	物理層	NTT東西それぞれの技術参考資料を参照	

*1: フレッツ光の契約による

4. シーケンス

- 通信までの一般的なシーケンスは以下の通りです。



What's Crossing Next?

JPIX